

行政評価委員 事前意見項目一覧（成果指標について）

NO	委員質疑等	回答欄		
		項目	所管課	内容
1	成果指標のR6目標値に対して、R5時点の実績値が大幅に下回り、達成が困難と思われるものがあります。この背景・要因をどのように見えていますか（単年度ではなく、前期の計画期間を通して）。 【具体的な指標】1-③、1-⑤、2-③、3-③、3-④	成果指標 1-③子育て支援に対する満足度	教育委員会	【基準H30：41.8-R5：31.1-目標R6：43.7】 前回調査と比べ、満足及び普通と回答した者の割合が減少、不満足が微増したほか、「わからない」と回答した割合が15.5→30.6と倍増している。参考として子育て中の保護者を対象とした別のアンケート（子ども・子育てアンケート）での子育て支援に関する満足度の結果によると小学生を持つ親の満足度がH30未実施→R5:43.3、就学前児童の保護者の満足度がH30:54.3→R5:55.2となっており、子育て世代の満足度は微増している。
2		成果指標 1-⑤朝日村への誇りや愛着を感じている村民の割合	企画財政課	【基準H30：66.6-R5：59.2-目標R6：73.9】 誇りや愛着を感じている村民の割合について、50代以外の世代で低下傾向。特に60代、70代の高齢者層の低下が大きい。コロナ影響による地域にかかわる機会の減少や生活スタイルの変容など、地域社会とのつながりが希薄化した要因が考えられる。
3		成果指標 2-③生涯学習の充実に対する満足度	教育委員会	【基準H30：17.1-R5：12.1-目標R6：20.6】 コロナ禍の活動中止により一旦村民が公民館活動から離れてしまったこと、地域の人とのつながりが希薄化されつつあること、公民館に求められていたものが多様性や個が優先され、情報化社会の中で自由に簡単に手に入る世の中となっていることなどから公民館への関心が低いのではないかと。今までのやり方を見直していく必要がある。
4		成果指標 3-③朝日村は暮らしやすいと思う村民の割合	企画財政課	【基準H30：61.4-R5：59.2-目標R6：69.0】 暮らしやすいと思う村民の割合について60代、70代の高齢者層が低下した一方、10代～50代は増加した。子育て・教育・子ども福祉・住宅施策の充実など若年・中年層にリーチした取組評価が一因として表れているのではないかと考えている。

行政評価委員 事前意見項目一覧（成果指標について）

NO	委員質疑等	回答欄		
		項目	所管課	内容
5	前ページつづき	成果指標 3-④区や地区の活動（コミュニティ活動）に参加している割合	総務課	【基準H30：41.3-R5：35.6-目標R6：58.1】 地区の役員負担を理由に、地区に加入しなかったり脱退する住民が増加している状況にあるため、自治会加入率が減少している。このため、住民異動窓口での転入者へ地区加入の推進、地区役員の削減を行っている。 また、地区加入のメリットが無いという理由や地区自体の活力低下によりコミュニティ活動への参加意欲が無くなっている状況もあり、地域住民の話し合いの場の確保や、住民協働の推進等により地区の活性化を図る必要がある。
6		成果指標 1-⑥今後も朝日村に住み続けたいと思う割合	企画財政課	【基準H30：40.5-R5：58.8-目標R6：42.4】 住み続けたいと思う割合（とても思う人の割合）について大幅に減少した一方、「そう思う・どちらとも言えない」を含めた中立的な考え以上の割合は84.8→89.1で増加し、「思わない」等のネガティブ思考の割合は減少しており、約9割の者が居住継続を肯定的に捉えていただいている点は一定の評価ができると考えている。
7	上記の質疑とは逆に、R5時点で目標値を達成できている成果指標があります。達成できている背景・要因をどのように見えていますか。 【具体的な指標】1-⑥、2-②	成果指標 1-⑥今後も朝日村に住み続けたいと思う割合	企画財政課	
8		成果指標 2-②納税義務者一人当たりの課税対象所得	総務課	【基準H30：2,371-R5：2,837-目標R6：増加】 納税義務者の80%を占める給与所得者の平均給与所得の増が大きな要因となっている。背景には、コロナ禍後の雇用状況の改善、雇用賃金の引き上げが影響していると考えられる。

行政評価委員 事前意見項目一覧（施策指標について）

NO	委員質疑等	回答欄			
		項目	所管課	内容	要因区分
9	最終的な目標に向けた進捗を確認するための指標であるKPIも成果指標と同様、 目標値の達成が困難と思われるものがあります。この背景・要因 をどのように見えていますか？	施策指標 NO.2里帰り出産時の産婦 健診受診費補助 【クロス表区分：⑥】	住民福祉課	里帰りされ産婦健診を受けられた方全員へ受診費補助ができることであれば、指標設定について検討が必要。	2
10	【具体的な指標】No.2, 4, 5, 7-12, 15, 16, 19-21, 24, 26, 30-33, 43-45, 47, 49, 50, 62, 63（達成率が80%以下のもの） ※個々の指標に対してというよりも、達成が困難と思われる指標全般を通して、どういう要因に集約できるのかを回答いただきたいと思います。	施策指標 NO.4子育てを楽しんでいることの方が多い割合（小学生）	教育委員会	コロナ禍により外部との交流も制限され、家庭内だけでは子育てに楽しさを感じえないことが一つの要因と考えられる。 実績数値は子ども計画見直し時にアンケート調査で把握しているが、今年度アンケート調査を精査する中で更に実態を把握したい。	1
11		施策指標 NO.5ファミリーサポート センターの利用者数 【クロス表区分：⑨】	教育委員会	令和3年度に利用者負担の軽減と利用者への周知を目的に補助制度を設け利用促進を図った。これにより4名であるが利用が図られるとともに、周知につながったと捉えている。現在補助は行っていないが、今後利用のニーズは高まるものと捉えており、更なる周知を行い利用促進を図っていく。	2
12		施策指標 NO.7転入者数 【クロス表区分：⑧】	企画財政課	転入者については村の取組だけではコントロールできない部分でありこの数値の達成自体にはあまり意味がないと考えており、社会動態のギャップを最小限に抑えるための基準値設定年度時点の転入者数を取組必要量としている。年度ごとに転入・転出数は大きく変動しており、指標設定については後期計画にて検討していく。	2
13		施策指標 NO.8空き家バンクを通じて成約した空き家数	企画財政課	空き家活用はH22から開始し、14年目。成約件数は累計46件。近年の物件登録は鈍化しており需要に対し供給が不足している。空き家所有者の活用意向が低いほか、賃貸トラブル回避の思考が一定程度働いていると考える。賃貸手法以外の新たな取組について研究・検討が必要であると感じている。	2

行政評価委員 事前意見項目一覧（施策指標について）

NO	委員質疑等	回答欄			
		項目	所管課	内容	要因区分
14	前ページつづき	施策指標 NO.9村施設利用者数	産業振興課	近年、主に自然環境の影響により利用者数の減少となってきた。 【プライムスキー】⇒温暖化の影響により降雪日が遅くなり、結果として営業日数の減少につながってしまった。 【コテージ】⇒カメムシ等の発生により、営業日数の制限をかけざるをえなかった（解消）	1
15		施策指標 NO.10村施設宿泊者数 【クロス表区分：⑦】	産業振興課	自然環境の影響と管理者の都合により利用者数の減少となってきた。 【コテージ】⇒カメムシ等の発生により、営業日数の制限をかけざるをえなかった（解消） 【キャンプ場】⇒コロナの規制緩和により、利用者の用途が多様化したため、屋外利用者が分散し利用者が減少した。 【ゲストハウス】⇒管理者の都合により、営業日数が少なくなったため、利用者数が減少となった（現在通常営業）	1
16		施策指標 NO.11滞在型体験プログラムの参加者数 【クロス表区分：①】	産業振興課	体験棟が公共施設として安全安心な施設として利用するには、耐震等基準不足のため、利用人数の減となった（プログラムについては、検討中）	3
17		施策指標 NO.12 認定農業者数 【クロス表区分：⑨】	産業振興課	農業者の高齢化による再認定者の減少による。 設定当時、今後の人口減少に対して、新規就農者により認定農業者を維持していく目標を設定したが、高齢化による減少を見込んでいなかったため、かなり高い目標となっている。	3
18		施策指標 NO.15援農事業（サポーター・農家）の登録件数 【クロス表区分：②】	産業振興課	設定当時、事業の廃止は想定していなかったため。	5

行政評価委員 事前意見項目一覧（施策指標について）

NO	委員質疑等	回答欄			
		項目	所管課	内容	要因区分
19	前ページつづき	施策指標 NO.16保育園「朝日食材の日」の給食回数 【クロス表区分：⑦】	教育委員会	「朝日食材の日」として、魚、肉以外の全ての食材を使用する日は、6月から11月までに月2回、計16回分の手配が済みしておりますので、実施可能な目標値としています。 また「朝日食材の日」とは別に、未満児の毎日の主食と、全園児のおやつおにぎりに使うお米は、令和5年10月から全て朝日村産を使っています。 その他に、6月から11月まで、週1～2日、朝日村産のその季節に採れる野菜を使うように手配しています。	3
20		施策指標 NO.19地域おこし協力隊の起業・定着 【クロス表区分：⑧】	産業振興課	・商工観光部門においては近年募集を掛けても中々、応募いただけない状況が続いていた。改めて、観光協会と連携を行い事業において魅力を発信して、募集を増やしていきたい。（R6.2 1名採用）	2
21		施策指標 NO.20中学生の学習教室利用者数 【クロス表区分：⑨】	教育委員会	中学生3学年を対象に行っている。各年度により部活動への参加などから参加者数は増減しているが、1年生時に参加した生徒はその後参加する傾向もあり、また新たに参加する生徒もいることから一定の成果はあると捉えている。引き続き周知を図るとともに、講師となる大学生とともに魅力ある教室を目指していく。	2
22		施策指標 NO.21コミュニティスクールに関わったボランティア数	教育委員会	信州型コミュニティスクールを取り入れ、ボランティア活動の理解が深め、ボランティア数も徐々に増やしていく計画だったが、コロナ禍でボランティア活動が止まり、再活動を行うにあたり、令和4年度国型のコミュニティスクールに切り替え、新たにCSコーディネーターを配置するなど取り組みを行っている。目標値に向け取り組み中。	1
23		施策指標 NO.24小学校と地域が連携して実施した事業の数（ふるさと道場、みどりの少年団等） 【クロス表区分：⑩】	教育委員会	コミュニティスクールと同様活動が止まり、ふるさと道場講師の地域ボランティアの再活動が出来ず道場数が減少している。 コミュニティスクールの活動再開とともに、講師の確保を行うことで目標値達成に向けていく。	1

行政評価委員 事前意見項目一覧（施策指標について）

NO	委員質疑等	回答欄			
		項目	所管課	内容	要因区分
24	前ページつづき	施策指標 NO.26生涯学習講座数 【クロス表区分：㊸】	教育委員会	目標設定時には春夏講座、秋冬講座として開講していたが、令和5年度から通年講座を開催しているため講座数が減少した結果となっている。また、天候により実施できなかった講座、申込者が集まらず実施できなかった講座は村民ニーズに合わなかったと理解する。今後は通年講座も取り入れる等講座内容の充実を張る。	3
25		施策指標 NO.30美術館の入館者数 【クロス表区分：㊸】	教育委員会	海外でも活躍している朝日村出身者の展覧会を開催したため来館者数がかかなり多かった平成30年を基準値に設定してあったが、その後のコロナ感染対策で臨時休館したこともあり、入館者数の目標には達せられなかった。その後、回復傾向にはあるが、令和5年に改修工事のため臨時休館したため、入館者数は前年を下回っている。今後も企画展の内容を充実させ入館者数を維持していきたい。	1
26		施策指標 NO.31地域サロン開催数	住民福祉課	施策指標NO.31、32、33 より多くの村民から参加してほしいということからの指標の設定であったが、コロナ禍により実施回数や地域サロンのグループの減少が見られる。多くの住民からの参加してもらえよう教室の内容の見直しを行っている。指標の設定については参加者が増えてくることはよいことであるが、それだけにとられない設定の検討も。	2
27		施策指標 NO.32オレンジカフェ・シニアランチ開催数 【クロス表区分：㊸】	住民福祉課	同上	2
28		施策指標 NO.33介護予防教室の参加者数	住民福祉課	同上	2

行政評価委員 事前意見項目一覧（施策指標について）

NO	委員質疑等	回答欄			
		項目	所管課	内容	要因区分
29	前ページつづき	施策指標 NO.43胃がん検診受診率 （ドックを含む）	住民福祉課	施策指標NO.43、44、45 検診の受診率については、県の「推計受診率」シートにより指標を設定し、令和元年度までは同シートが提供されていたが令和2年度以降は提供されなくなり、受診率の算出方法を変えざるを得なくなった。今後指標設定する場合には算出方法の検討が必要となっている。 コロナ禍における検診については、検診の受け入れに制限が設けられた時期もあり受診率に影響している。 胃がん検診においては、令和5年度循環器健診と同日に受診日が設定できず、その影響もうけていると考えられる。	2
30		施策指標 NO.44肺がん検診受診率 （ドックを含む） 【クロス表区分：④】	住民福祉課	同上	2
31		施策指標 NO.45大腸がん検診受診率 （ドックを含む） 【クロス表区分：⑦】	住民福祉課	同上	2
32		施策指標 NO.47災害時の看護師等の登録件数 【クロス表区分：⑥】	住民福祉課	必要性を感じていても、コロナ禍となり担当部署ではコロナ予防接種等対応で進められていなかった。登録件数の指標設定についても現実的であるかどうかも含め検討が必要と感じている。	4
33		施策指標 NO.49ボランティア協議会登録者数 【クロス表区分：⑨】	住民福祉課	ボランティア協議会登録団体は横ばいであるが、構成人数が減少している。ボランティアに参加している方がやめることは想定していない指標設定であれば、参加者の状況も踏まえた指標の設定の必要性は感じる。	2

行政評価委員 事前意見項目一覧（施策指標について）

NO	委員質疑等	回答欄			
		項目	所管課	内容	要因区分
34	前ページつづき	施策指標 NO.50消防団員数 【クロス表区分：⑨】	総務課	消防団員数が減少している状況は、少子化が大きな要因と捉えています。このため、村では現在、団員数の減少など消防団を取り巻く厳しい状況や多くの課題について、今後の方針を定めるため「消防ビジョン」の策定に取り組んでいます。	2
35		施策指標 NO.62広丘線バス1便あたりの乗車人数 【クロス表区分：⑨】	企画財政課	多様なニーズ・利便向上を目的とした運行形態の変更（便数の増）等により総乗車人数については回復基調にあるが1便あたりの乗車人数の指標（目標値）に対しては乖離が大きくなっている。指標は未達であるが施策テーマである「利用しやすい公共交通の充実」に向けた取組は進んでいると考えている。なお、指標設定の意図としてコストの軽減（効率化）という側面もあり、求められるサービス水準との運行コストのバランスについて取組の難しさを感じている。	3
36		施策指標 NO.63デマンドタクシーくるりん号1台あたりの乗車人数	企画財政課	同上。 運行形態の変更（他交通機関へのアクセスポイントの増、買い物支援：村外生活店舗へのセミデマンド運行、新規路線：朝日波田線運行による利用者分散）	3
37		上記と重複する指標となりますが、KPIの指標の中にはコロナ禍の影響で一時実績が下がった後回復している指標があれば、R5に再び減少している指標もあります。後者に関して、背景・要因をどのように見えていますか？ 【具体的な指標】No.10, 11, 25, 26			
		施策指標 NO.10村施設宿泊者数 【クロス表区分：⑦】	産業振興課	自然環境の影響と管理者の都合により利用者数の減少となってきた。 【コテージ】⇒カメムシ等の発生により、営業日数の制限をかけざるをえなかった（解消） 【キャンプ場】⇒コロナの規制緩和により、利用者の用途が多様化したため、屋外利用者が分散し利用者が減少した。 【ゲストハウス】⇒管理者の都合により、営業日数が少なくなったため、利用者数が減少となった（現在通常営業）	1
38		施策指標 NO.11滞在型体験プログラムの参加者数 【クロス表区分：①】	産業振興課	体験棟が公共施設として安全安心な施設として利用するには、耐震等基準不足のため、利用人数の減となった（プログラムについては、検討中）	3

行政評価委員 事前意見項目一覧（施策指標について）

NO	委員質疑等	回答欄			
		項目	所管課	内容	要因区分
39	前ページつづき	施策指標 NO.25公民館・体育施設を利用している自主学習活動団体数	教育委員会	コロナ明けで新たにグループを立ち上げても単年度で活動する団体や、コロナ明け人数が集まらず活動を休止する団体があった。条件がある登録制で団体数を把握していないので数の把握が難しい状況でもある。団体数の把握方法を検討したい。	1
40		施策指標 NO.26生涯学習講座数 【クロス表区分：㊸】	教育委員会	目標設定時には春夏講座、秋冬講座として開講していたが、令和5年度から通年講座を開催しているため講座数が減少した結果となっている。また、天候により実施できなかった講座、申込者が集まらず実施できなかった講座は村民ニーズに合わなかったと理解する。今後は通年講座も取り入れる等講座内容の充実を張る。	3
41	後期の計画期間に向けて、KPIの指標の妥当性を改めて検討いただければと思います（適したKPI指標かどうか） →行政側で実施したか否かで判断できる指標もあれば（例：道路施設～進捗率、公共施設の除去数など） →行政側の取り組みだけではコントロールできない指標（例：生涯学習受講者数、消防団員数など）もあると思います。 ①「行政として着実に取り組みができているかどうか」という指標と ②「朝日村としての最終目標」「成果指標」に向けて、どこまで到達できているかを判断する指標の精査が必要ではと思います。	意見・提案		いただいた提言を参考に後期基本計画の策定検討を行います。	

行政評価委員 事前意見項目一覧（その他）

NO	委員質疑等		回答欄	
	項目	内容	所管課	内容
42	1－2. 子どもの成長過程に応じた切れ目のない子育て支援を行います	KPIのNo.3, 4をみると、R5の実績で目標値に大幅に届いていない状況です（→結果として成果指標の子育てに関する指標につながっていないと思われます。）評価シートでは「取り組みが行われている／活発になっている」とコメントされていますが現状をどう捉えていて、具体的にどう改善する考えをお持ちでしょうか？	教育委員会	施策評価シートにおいて、評価コメントとして各取り組みが活発に行われているとコメントしておりますが、KPIでの実績は基準を下回る結果となりました。それぞれの要因はアンケート調査の結果をもとに分析し、次期計画に反映をしていきます。
43	2－1. 暮らしたい、暮らし続けたいと感じる移住・定住施策を推進します	R2年～の社会動態のデータでR5の累年と単年の実績値に齟齬があるように思われます。念のためご確認をお願いします。	企画財政課	R 5 の累年△112人の誤りです。（資料修正）
44	4－2. 誰もが生涯にわたって学び続けられる環境をつくれます	成果指標の「生涯学習に対する満足度」は基準値より下がっており目標値とのギャップが大きい一方で、KPIのNo.27をみると受講者数はコロナ禍で落ち込んだ後増加し、目標値を達成しています。これはどう理解すればよろしいでしょうか？	教育委員会	コロナ明けで講座が開催できるようになったことや、1つの講座に対する回数が増加しているため受講者数が伸びている一方で参加者の固定化が考えられる。
45	7－5. 村の豊かな自然環境を守り、循環型社会をめざします	KPIのNo.67は達成しているのではないのでしょうか。確認をお願いいたします。	建設環境課	達成済です。（資料修正）

行政評価委員 事前意見項目一覧（その他）

NO	委員質疑等		回答欄	
	項目	内容	所管課	内容
46	意見・提案	評価コメントが全体的に「～検討する」「～を図る」といったものが多い。 そもそも2023年度の取り組みをどう評価していて、どう改善するのかまで踏み込むべきではないか？（もちろん、踏み込んだコメントが書かれているケースもある。例えば8-2の企画財政課のコメント） 後期総合計画の行政評価の際には最終年度までの目標達成に向けて、毎年度、どういうアクションを起こし、どういう成果・課題が得られて、どう改善するのか施策の評価・検証の中身を検討してほしい。		いただいた提言を参考に後期基本計画の策定検討（後期の行政評価手法）を行います。